

【群馬パース大学と群馬クレインサンダーズとの共同研究】

学童期におけるスポーツ傷害の発生原因と復帰時期に寄与する要因の検討

～小学生対象のバスケットボールクリニックと怪我とヘルスリテラシーに関するアンケート調査～

1. 日程等について

実施日程：11月30日（日） 17時00分～19時00分

場所：体育棟 アリーナ及びアリーナ横ホール

2. 参加者：100名（保護者、兄弟の約50名含む）

- ・小学生 50名（多数の応募により抽選）
- ・群馬クレインサンダーズ トップチーム選手 中村拓人選手（2019年日本代表）
- ・本学理学療法学科卒業生1名（内田病院所属：共同研究協力者）
- ・理学療法学科3年生3名（有志にて参加、スクールコーチ補助、受付補助として参加）

3. アンケート調査

- 怪我の既往に関する調査及びヘルスリテラシーに関する意識を問うアンケート調査を参加した小学生又は保護者を対象に実施した。
- アンケート項目
基本情報、バスケ歴、練習時間、怪我の既往歴、ヘルスリテラシー（健康に関する情報を「探す、理解する、判断する、実行する」の4つの能力について10項目4段階“とてもむずかしい～とてもかんたん”にて回答）について調査した。31名の回答が得られ、現在データ集約及び解析を行っている。

3. 当日のスケジュール

- 受付（受付とスクールの入会案内）
- アンケート調査（群馬パース大学との共同研究として説明）
- 中村選手によるバスケットボールスクール
- 選手との集合写真、サイン会（スクール入会者）

4. 実施報告

トップチームの選手が実施するスクールとして応募者が多数いたため、当初30名であった定員を50名に増員し、さらに抽選の結果49名の参加者が参加した。保護者や兄弟を含めると100名以上の参加者となり、保護者は3階スペースより見学する形にて対応した。群馬クレインサンダーズ主催のイベントであるが、共同研究の一環としてアンケート調査を実施した。体力測定等検討したが、参加人数と限られたスペースや時間から、アンケートのみの実施とした。

本学の理学療法学科学生もスタッフとして参加し、選手との関わりや参加した小学生との関わりが見られ、学生にとっても良い学びとなったと考える。今後も共同研究によるデータ測定を継続し、得られた結果をチームや地域の子供達に還元することで、地元スポーツ×大学での地域活性化を目指したい。

